



## 〈話し合われた主な内容〉

### ○学校の様子について

- (授業参観・10～1月の活動の様子スライドショーと学芸会ダイジェスト映像鑑賞)
- コロナ禍の中ではあるが、グラウンドの雪山やスキー場でのスキー学習等、様々な教育活動に取り組んでいることがわかりよかった。
  - 映像で学芸会の様子をみることでよかった。おわりの言葉の内容がとてもよい。みんながよい子に育てほしい。
  - リコーダーを交代で演奏する等、感染対策をしながらの取組について、マイナスとはとらえずに工夫しながら活動していてすばらしい。また、図工の作品で個性的なものが展示されていて楽しく見せていただいた。
  - 感染対策に気をつかいながら、できること以上に取り組まれている先生方の苦勞がよくわかった。
  - 学級閉鎖中に、タブレットを活用して自宅でプログラミング学習をしていた。これからも効果的に活用されていければと思う。

### ○自己評価及び学校関係者評価書について

- 先生方の退勤時刻が以前より早くなっていることがわかり、働き方改革が進められていると感じている。
- いじめについて、すべて拾いきれているのか。親のつながりで、学校に話していないようなことも伝わってくることもある。  
→スマホやSNSでのいじめが増えてきている。未然防止のための情報モラル教育が必要である。
- 小中一貫教育だけではなく、幼保小の架け橋プログラムの重要性も含め、幼保こ小連携も進めていきたい。  
→まずは、先生方が気軽に幼稚園に訪問にきたり、小学校に行ったりして交流したい。